

会 議 名	令和4年度第1回 木更津市駐屯地に関する協議会区長部会		
開 催 日	令和4年8月5日(金)	場 所	中央公民館 第7会議室
時 間	午後5時00分～午後5時55分まで		
出 席 者	石井委員(木更津市企画部長・部会長)、遠山委員(新宿区長)、小原委員(吾妻区長)、友野委員(中里2丁目区長)、新堀委員(江川区長)、飯塚委員(久津間区長)、石井委員(久津間住宅区長)、進藤委員(畔戸区長) 東木場1等陸佐(陸上自衛隊第一ヘリコプター団 高級幕僚)、裏出2等陸佐(陸上自衛隊第一ヘリコプター団第三科長) 白川室長(北関東防衛局地方調整課基地対策室)、竹間防衛事務官(北関東防衛局地方調整課基地対策室)		
議 題	木更津駐屯地に配備されている航空機の運用に関する懸念事項等について(公開)		
そ の 他	なし		
配 付 資 料	01 会議次第 02 委員名簿及び出席者名簿 03 【資料1】木更津駐屯地に関する協議会の概要 04 【資料2】木更津駐屯地に配備されている航空機の運用に関する懸念事項等について 木更津駐屯地に関する協議会設置要綱 木更津駐屯地に関する区長部会設置要領		
概 要	議題 木更津駐屯地に配備されている航空機の運用に関する懸念事項等について【説 明】 ●青木 木更津市企画課基地対策係長説明 説明資料2に基づいて説明 【主な質疑応答・意見等】 進藤委員)当初、オスプレイが来るときには、防衛省から、オスプレイは整備しても民家の方は飛ばずに海の方を飛ぶと伺っていた。畔戸区では50軒程、防音区域から外れているが、毎日上空を飛んでいる。木更津駐屯地周辺地域等振興交付金が年間で150万円程交付されているが、仮に5年間、積立てたとしても、防音工事は窓を二重サッシにする等工事費がかかるのでとても足りない。区の中で差がついてしまっていて仕方ない。駐屯地はこのような状況について知っているのか。 裏出第三科長)状況については、北関東防衛局を介して部隊の方で理解はしている。 進藤委員)音の問題なので、道を挟んで一方には騒音の影響があるのに対し、もう一方にはないということは絶対にありえない。航空機は我が物顔で飛行している。同じ区内で防音工事の対象に区切りがあることをしっかりと理解していただきたい。 裏出第三科長)部隊としては、騒音軽減の観点から、オスプレイに限らず大型ヘリも含めて、飛行場内で早い段階で飛行高度を取って、騒音軽減に努めているところである。経路についても、苦情等いただいたら、直ちに飛行部隊に対してその地域を避けるよう徹底しているところである。 進藤委員)色々大変だと思うが、現場の方も大変な状況である。懸念事項に対する市の回答にあるように、木更津駐屯地周辺地域等振興交付金を活用していただければと言われても、そう簡単にいかない話である。また、手続きを簡単にしていただきたい。 石井委員)市はどのような意図で、交付金を活用していただければと回答しているのか。 山口主幹)第一種防音区域の指定については、防衛省が指定するものであって、その対応、対策についても防衛省が対応するものである。実態として、同じ区域で第一種防音区域に指定されている区域とそうでない区域があると、それについて、市としても繰り返し要望しているが見直しがされていないという状況があるので、市の交付金を活用して、その対策にもご活用を検討いただきたいという趣旨である。防衛省が第一種防音区域の見直しをしない地域に市の交付金を充てるということではなくて、市の交付金と防衛省の対応については分けて考えていた		

	きたい。 石井委員)であればこそ、この回答はおかしいのではないか。例えば、1件あたり10万円くらいずつ使えるとか、そういった具体的なものがないと交付金を充てるというのは難しいのではないか。防音工事の補助を防衛省が行っているのは分かっているが、市の回答としては、金額的に現実とそぐわないと思う。 友野委員)資料2のP3に記載されている、暫定配備の期間のことだが、当初から暫定配備の期間は5年間ということで伺っている。佐賀の漁協は反対しているのに5年というのは難しいというのは当初から思っていた。最近、オスプレイの音に慣れてきた。夜も窓を開けるとサッシがガタガタいっている。時間的に短いから我慢できる。5年間の配備は必ず守っていただきたい。みんな我慢している。オスプレイだけじゃない、CHも全部我慢している。そういったことを市も防衛省もよく理解していただきたい。佐賀の状況についてどうなっているか、中間報告してもらいたい。佐賀の漁協ばかり気を配ってないで、こちらにも気を配ってもらいたい。 遠山委員)騒音もさることながら、安全性について疑問を持っている方もいると思うが、専門書を読んでも安全であることは明白である。そういったことから安全性については問題ないと打ち出していただきたい。昭和38年頃に佐世保で原子力潜水艦の反対運動が大々的に起きた際に、反対派の主張としては海が汚れる、魚がとれなくなるというものであったが、その主張に根拠はなく原子爆弾と原子力推進を混同しているのではないかという記事があった。騒音に関することは別として、現在のオスプレイの安全性に関する反対派の意見にも同じことが言えるのではないかと思う。以前、反対派のデモの影響で子どもを塾に迎えに行けないと相談されたことがあった。反対派は祭りと同じだという主張だったが、オスプレイの反対運動は政治的イデオロギーであると思う。反対派もそれを認めたが、祭りも宗教的なイデオロギーであるという主張だった。 オスプレイの暫定配備について、テレビと新聞の取材に応じたことがあり、賛成と回答したら、その時点で取材は打ち切られた。そのような風潮があるということについても考えてほしいと思う。 小原委員)暫定配備が終わって、定期機体整備のみになると、木更津の空は変わるのか。 東木場高級幕僚)陸上自衛隊のオスプレイでいうと、整備が終わると、整備確認飛行が行われるので、全く飛行がなくなるということはないと考えられるが、今後どのような運用になるかについては決まっていないので、確たることは申し上げられない。ただ、駐屯地で整備を行っていくことは伺っている。 新堀委員)先日、北関東防衛局から、新格納庫の建設工事に係る工事車両の通行にあたり、岩根西中学校の入口と岩根小学校の付近に誘導員を配置することについて進めていると連絡があり、最終的な回答を待っているところだが、当初、リサイクルショップ付近のカーブのところにもと要望したが、同局は、調査して再度検討させていただきたいとのことだった。その報告を待っている状況である。当該箇所は、人通りは多くないが、かなり危険な箇所なので、当該箇所を含め3カ所については、誘導員を配置していただきたい。 飯塚委員)木更津駐屯地のオスプレイを含めヘリコプターの飛行訓練の回数は、例えば、1日当たり何回であるとか開示することはできるか。 裏出第三科長)1日何回飛行するかどうかについて開示できるか、ということだが、自衛隊の能力を類推できる可能性があることから公表することはできない。 飯塚委員)オスプレイを含めた夜間飛行訓練について、23時までということでは伺っているが、一方で、先日、駐屯地からは、21時くらいを目安に配慮して行っていると伺ったが、実際のところどうなのか伺いたい。 裏出第三科長)第一ヘリコプター団は国際任務や日本国内の災害等の任務に対応することもあり飛行について時間の制約は設けられていない。ただ、住民の方々の生活もあり、地域の方に理解をいただくという観点では協力していかなければならないという認識を持っている。しかし、現状、時間の制限はないが、あったとしても明示することはできない。これは先ほど言ったように自衛隊の能力を類推することにつながる可能性があるためである。ただ、各部隊へは最低限の時間で実施するようにと徹底していきたいと思う。 石井委員)先日、オスプレイに体験搭乗をさせていただいた。あのような体験搭乗を地域住民にもっと広めることは可能か。
--	--

	裏出第三科長)近隣の皆様に対してよりご理解が得られるよう検討する。 石井委員)体験搭乗させていただいた際に、協力というような意味合いで効果があると思ったため、検討していただければと思う。 友野委員)音の面で近隣住民に気を遣うのであれば、南西の風が吹いている際は、特に気を付けてもらいたい。17時半の行政無線が全く聞こえないほどに音を大きく感じる。飛行を避けるというのは無理があるかもしれないが、風向きがどうかというのも気配りの一つとして考えていただければと思う。 また、事前質問の回答にあるような防音壁の建設は良いかもしれない。 裏出第三科長)風向きについて考慮し、引き続き徹底していきたい。 【その他】 無し
--	---